

映画音楽家・佐藤勝と七人の名匠

『佐藤勝 銀幕の交響楽』出版記念

シンフォニー



映画を聴く

岡本喜八／沢島忠／田坂具隆／中平康
森谷司郎／山田洋次／山本薩夫

七人の名匠の作品を彩る映画音楽の^{マイスター}名巧
佐藤勝の世界へ

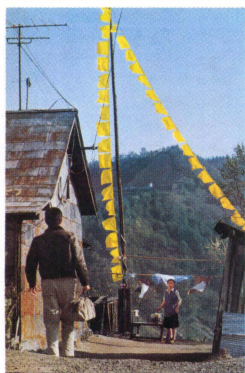
2007年4月7日(土)~13日(金)



トークショー

澤島 忠監督

4月7日(土) 14:25より



感動はスクリーンから



新文芸坐

池袋東口徒歩3分 TEL:03-3971-9422
<http://www.shin-bungeiza.com>

『佐藤勝 銀幕の交響楽』出版記念 映画音楽家・佐藤勝と七人の名匠

2007年4月7日(土)～13日(金)

沢島 忠

人生劇場 飛車角 (1963/東映東京)



●監督: 沢島忠 ●原作: 尾崎士郎 ●脚本: 直居欽哉 ●出演: 鶴田浩二、佐久間良子、高倉健、梅宮辰夫、水島道太郎、田中春男、村田英雄、月形龍之介

◆尾崎士郎の原作から「残侠篇」にスポーツを当て、東映任侠映画の先鞭をつけた記念碑的作品。多彩な人物のドラマが絡み合う中、俠客・飛車角(鶴田)と遊女・おとよ(佐久間)の男と女の愛の主題を力強い筆致で描く沢島演出を、佐藤は正攻法の音楽で好サポート。

田坂具隆

陽のあたる坂道 (1958/日活)



●監督: 田坂具隆 ●原作: 石坂洋次郎 ●脚本: 池田一朗 ●出演: 石原裕次郎、北原三枝、芦川いづみ、川地民夫、渡辺美佐子、千田是也、轟夕起子

◆『乳母車』(‘56)に続き石坂洋次郎の原作を、石原裕次郎と田坂具隆のコンビで映画化した青春映画大作。妻藤の子の青年(裕次郎)を中心に、上流階級の一家の愛と葛藤を描く。憧れの巨匠・田坂の作品に初参加の佐藤は、演出意図を踏まえた格調高い楽曲を提供。

岡本喜八

肉弾 (1968/「肉弾」をつくる会=ATG)



●監督: 岡本喜八 ●脚本: 寺田農、大谷直子、笠智衆、天本英世、小沢昭一、田中邦衛、北林谷栄、伊藤雄之助

◆灰色濃い太平洋戦争末期、魚雷をつけたドラム缶に乗ったまま待機する「あいつ」(寺田農)の青春。岡本喜八が大作『日本のいちばん長い日』(‘67)で描ききれなかった戦中派としての思いをぶつけた自伝的名作。リリカルな佐藤メロディが圧倒的な感動をもたらす。

森谷司郎

首 (1968/東宝)



●監督: 森谷司郎 ●原作: 正木ひろし ●脚本: 橋本忍 ●出演: 小林桂樹、南風洋子、神山繁、佐々木幸丸、大瀧秀治、下川辰平、加藤和夫 ★キネ旬5位

◆昭和18年に起きた炭鉱夫の暴死事件。警察の圧力を受けた中平康、死因を突き止めるべく死体の頭部を切開して運んだ正木弁護士(小林)の執念を描いた力作。原作者自身をモデルにした小林桂樹の熟演が圧巻。佐藤の音楽設計は重厚な社会派推理劇の味付け。

中平 康

狂った果実 (1956/日活)



●監督: 中平康 ●原作: 脚本: 石原慎太郎 ●音楽: 佐藤勝、武満徹 ●出演: 石原裕次郎、北原三枝、津川雅彦、岡田真澄、芦田伸介、石原慎太郎

◆石原裕次郎の初主演した太陽族映画。本作でデビューした中平康の切れ味鋭いモンタージュとモダンリズム演出は、ゴダールやトリュフォーら仏ヌーヴェルヴァークにも影響を与えた。佐藤は同門の武満徹と奇跡のコラボレートで、裕次郎のスターイメージを確立。

山田洋次

遙かなる山の呼び声 (1980/松竹)



●監督: 脚本: 山田洋次 ●脚本: 朝間義隆 ●出演: 高倉健、倍賞千恵子、吉岡秀隆、八木肇、武田鉄矢、木ノ葉のこ、栗津寛、畑正憲、瀧美清 ★キネ旬5位

◆高倉健と山田洋次が再び組んだヒューマンドラマ。警察に追われる男(高倉)と牧場主の未亡人(倍賞)。その子供(吉岡)の出会いと別れを描く。ヒロインの名は『家族』(‘70)、『故郷』(‘72)と同じ民子で、山田・佐藤・倍賞トリオの三部作でもある。

股旅 三人やくざ (1965/東映京都)



●監督: 沢島忠 ●脚本: 野上龍雄、笠原和夫、中島貞夫 ●出演: 中村錦之助、仲代達矢、松方弘樹、藤純子、入江若葉、田中邦衛、加藤武、志村喬

◆東映時代劇に新風を吹き込んだ才人・沢島忠が豪華キャストを得て放つ佳篇。秋・冬・春の三章からなるオムニバス形式で、渡世人たちの義理と人情のドラマが展開。佐藤勝のアイディアによる童謡『どじょうこふなっこ』のメロディに載せる構成が秀逸。

山本薩夫

不毛地帯 (1976/製作: 芸苑社 配給: 東宝)



●監督: 山本薩夫 ●原作: 山崎豊子 ●脚本: 山田信夫 ●出演: 仲代達矢、丹波哲郎、北大路欣也、八千草薫、山形勲、秋吉久美子 ★キネ旬4位

◆『白い巨塔』(‘66)、『華麗なる一族』(‘74)に続き、山崎豊子の原作を社会派の巨匠・山本薩夫が映画化。昭和30年代、自衛隊の次期戦闘機の選定を巡る政財界の構図をえぐった社会派エンターテインメント。佐藤の音楽は大作にふさわしい重厚な響きを奏でる。

独立愚連隊西へ (1960/東宝)



●監督: 脚本: 岡本喜八 ●脚本: 関沢新一 ●出演: 加山雄三、佐藤允、中谷一郎、平田昭彦、中丸忠雄、水野久美、天本英世、フランキー堺

◆北支戦線を舞台に、軍旗捜索の命を受けた独立佐文字小隊の活躍を描く痛快戦場アクション。岡本喜八の出世作『独立愚連隊』(‘59)の姉妹篇だが、娯楽映画としての完成度は前作以上。佐藤音楽は主題歌「独立愚連隊マーチ」にイキな大尉も軽やかに、岡本活劇を躍動させる。

日本沈没 (1973/東宝=東宝映像)



●監督: 脚本: 森谷司郎 ●原作: 小松左京 ●脚本: 橋本忍 ●出演: 小林桂樹、藤岡弘、いしだあゆみ、二谷英明、島田正吾、丹波哲郎

◆小松左京の大ベストセラーを映画化した、70年代を代表するSF超大作。橋本忍の精緻な脚本、黒澤明直系の森谷司郎の豪腕演出、中野昭慶特技監督の大破壊スペクタクル、豪華キャストの力演など見どころ十分。「破壊と再生」をモチーフにした音楽がすばらしい。

紅の翼 (1958/日活)



●監督: 脚本: 中平康 ●原作: 菊村到 ●脚本: 松尾昭典 ●出演: 石原裕次郎、中原早苗、二谷英明、芦川いづみ、滝沢修、安部鶴、西村晃、大坂志郎

◆殺人犯に銃を向けられた青年パイロット(裕次郎)は、八丈島へ破傷風の血清を無事に運ぶことができるか……。中平康と石原裕次郎の名コンビが放つ航空アクションの大ヒット作。大空の雄大なスケールを感じさせる佐藤音楽もクライマックスに向けて疾駆する。

幸福の黄色いハンカチ (1977/松竹)



●監督: 脚本: 山田洋次 ●原作: ビート・ハミル ●脚本: 朝間義隆 ●出演: 高倉健、倍賞千恵子、武田鉄矢、桃井かおり、たけ八郎、太宰久雄 ★キネ旬1位

◆網走から夕張へ、刑務所帰りの男が行きずりの若いカップルと共にそれぞれの愛を掴むまでの旅を描いたロードムービーの名作。高倉健ほかキャストの好演と山田洋次の巧みな演出に応え、徐々に盛り上げてゆく佐藤音楽は緊張と感動が交差するラストで爆発を迎える。

佐藤勝

1928年5月29日、北海道留萌市生まれ。国立音楽大学卒業後、早坂文雄に師事。生涯を映画音楽に捧げ、処女作『三太と千代の山』(‘52)から『雨あがる』(‘99)まで、手掛けた作品は黒澤明監督作品など308本(本人公認リストによる)。「93年芸術選奨・文部大臣賞、紫綬褒章」。「99年12月5日没。

4/7(土)

人生劇場 飛車角 12:30/17:30
股旅 三人やくざ 10:15/15:15/19:30(～21:30)
14:25～トークショー/ゲスト 澤島 忠 監督

8(日)

陽のあたる坂道 10:00/14:05/18:10(～22:05)
9(月)
不毛地帯 11:00/14:45/18:30(～21:55)
10(火)

肉弾 9:50/14:10/18:30
独立愚連隊西へ 12:10/16:30/20:45(～22:30)
11(水)

首 13:15/17:55
日本沈没 10:35/15:20/19:55(～22:20)
12(木)

狂った果実 11:40/15:15/18:50
紅の翼 9:55/13:30/17:05/20:40(～22:15)
13(金)

遥かなる山の呼び声 9:45/14:00/18:20
幸福の黄色いハンカチ 12:00/16:20/20:40(～22:30)

ご入場料金

一般1300円、学生1200円、友の会・シニア・身障者1000円
ラスト1本800円(1本立を除く)

◆前売1回券1100円(4/6(金)まで販売)

◆3回券 3000円(4/9(月)まで販売)

旧作のため作品によっては状態の悪いフィルムもございます。各回とも、上映開始30分以降の途中入場はお断りいたします。



黒澤明をはじめとする名匠たちと300本以上の映画音楽をつくりあげ、映画ひとすじに生きた佐藤勝の世界を論じた大著。

『佐藤勝 銀幕の交響楽(シンフォニー)』
A5版・上製、384P 3990円(税込)
小林淳・著/ワイス出版・刊 3月下旬発売予定

新文芸坐 MARUHAN 池袋東口徒歩3分 TEL: 03-3971-9422 http://www.shin-bungeiza.com